

令和5年度

高知県広域食肉センター事務組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

高知市監査委員

6重高監第 11 号
令和 6 年 6 月 4 日

高知市長 桑 名 龍 吾 様

高知市監査委員 細 川 哲 也
高知市監査委員 金 子 努
高知市監査委員 山 根 堂 宏
高知市監査委員 浜 口 卓 也

令和 5 年度高知県広域食肉センター事務組合
一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第 292 条の規定により準用する同法施行令第 5 条第 3 項の規定に
基づき審査に付された令和 5 年度高知県広域食肉センター事務組合一般会計歳
入歳出決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

令和5年度高知県広域食肉センター事務組合一般会計歳入歳出決算の審査意見

第1	審査の経緯	1
第2	審査の種類	1
第3	審査の対象	1
第4	審査の期間	1
第5	審査の着眼点及び実施内容	1
第6	審査の結果及び意見	1
I 一般会計歳入歳出決算		
1	決算の概要	2
2	歳入	3
3	歳出	7
4	決算剰余金	9
II 財 産		
1	公有財産	10
2	物品	10
3	債権	10
4	基金	10
III 審査意見		
	審査意見	11
審査資料		13
	第1表 歳入歳出総括	14
	第2表 実質収支に関する明細	14
	第3表 歳入・歳出状況	16
	第4表 歳入・歳出年度比較	18
	第5表 流用及び予備費の充用状況	18

凡 例

- 1 表中に用いた年度は、元号を省略した。
- 2 文中の金額等の記述は、次のとおりである。
 - (1) 文中に用いた「金額」は、原則として万円単位とし、表示単位未満を切り捨てて表示した。
 - (2) 文中に用いた「比率 (%)」は、原則として直近の表中の数値を使用した。
- 3 表中の金額等の記述は、原則、次のとおりである。
 - (1) 表中に用いた「金額」は、表示単位未満を切り捨てて表示した。
このため、表示数値と表中計算の結果及び合計と内訳の計が一致しないことがある。
 - (2) 表中に用いた「増減」は、表示単位未満を切り捨てて表示した。
このため、表示数値と増減高及び合計と内訳の計が一致しないことがある。
 - (3) 表中に用いた「比率 (%)」は、表示数値未満を四捨五入して表示した。
このため、表中の構成比率については、合計と内訳の計が一致しないことがある。
- 4 文中及び表中に用いた符号等の用法は、次のとおりである。
 - 「－」 該当数値のないもの
 - 「△」 負 数
 - 「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 5 文中及び表中に用いた「ポイント」とは、百分率 (%) 間又は指数間における単純差引数値である。

一般会計歳入歳出決算審査意見

令和5年度高知県広域食肉センター事務組合一般会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の経緯

この決算審査は、高知県広域食肉センター事務組合が令和6年2月29日をもって解散したことに伴い、同日付けで打ち切られた令和5年度決算について、地方自治法施行令（以下「令」という。）第218条の2並びに高知県広域食肉センター事務組合同約第15条の規定により事務を承継した団体の長である高知市長から審査に付された決算その他関係書類に基づき、高知市監査委員が審査を行ったものである。

第2 審査の種類

地方自治法第292条の規定により準用する令第5条第3項の規定に基づく決算審査

第3 審査の対象

令和5年度高知県広域食肉センター事務組合一般会計歳入歳出打切決算書

令和5年度高知県広域食肉センター事務組合一般会計歳入歳出打切決算事項別明細書及び実質収支に関する調書

令和5年度高知県広域食肉センター事務組合財産に関する調書

第4 審査の期間

令和6年3月22日から同年5月29日まで

第5 審査の着眼点及び実施内容

審査に当たっては、高知市監査基準に準拠し、審査に付された決算その他関係書類が、地方自治法その他関係法令に適合し、かつその計数が正確であるか、提出された資料との照合により確認するとともに、予算の執行が適正かつ経済的・効率的に行われているかについて、関係職員へのヒアリングの実施その他必要と認める審査手続によって、総括的に審査を実施した。

第6 審査の結果及び意見

上記第2から第5までの記載事項のとおり審査した限り、重要な点において決算その他関係書類がいずれも関係法令に適合し、かつその計数が正確であることが認められた。また、予算の執行がおおむね適正に行われていることが認められた。

審査の状況及び意見は、次のとおりである。

I 一般会計歳入歳出決算

1 決算の概要

(1) 決算規模の状況

決算額は、次のとおりである。

当初予算額	3,118万8,000円
予算現額	1億2,315万7,000円
歳入	9,644万1,937円
歳出	5,634万9,262円
差引残額	4,009万2,675円

(2) 決算規模の推移

決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

(単位:千円, %)

区分 年度	歳入			歳出		
	決算額	対前年度比較		決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率		増減額	増減率
5	96,441	△ 13,387	△ 12.2	56,349	38,487	215.5
4	109,829	93,229	561.6	17,861	1,740	10.8
3	16,600	—	—	16,121	—	—

(3) 収支の状況

決算収支の状況は、次表のとおりである。

決算収支の状況

(単位:千円)

項目	区分	5年度	4年度	3年度
当初予算額		31,188	109,224	14,584
予算現額		123,157	109,704	16,621
歳入決算額		96,441	109,829	16,600
歳出決算額		56,349	17,861	16,121
形式収支(歳入歳出差引額)		40,092	91,968	479
繰越事業費繰越額		0	83,000	0
繰り越すべき財源		0	83,000	0
実質収支		40,092	8,968	479
単年度収支		31,124	8,488	△ 1,556
積立金		0	0	0
繰上償還金		0	0	0
積立金取崩し額		0	0	0
実質単年度収支		31,124	8,488	△ 1,556
歳計剰余金処分による積立金		—	0	0

形式収支は、4,009万円の黒字である。

実質収支は、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたものであるが、繰り越すべき財源がないため、形式収支と同額となっている。

単年度収支は、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものであり、3,112万円の黒字となっている。

実質単年度収支は、財政調整基金への積立金等がないため、単年度収支と同額となっている。

2 歳 入

(1) 決算の状況

歳入の決算額は、次のとおりである。

当初予算額	3,118万8,000円
予算現額	1億2,315万7,000円
調定額	9,644万1,937円
収入済額	9,644万1,937円
不納欠損額	0円
収入未済額	0円

歳 入

(単位:千円,%)

項目	区 分	5 年 度	4 年 度	対 前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		31,188	109,224	△ 78,036	△ 71.4
予 算 現 額		123,157	109,704	13,453	12.3
調 定 額		96,441	109,829	△ 13,387	△ 12.2
収 入 済 額		96,441	109,829	△ 13,387	△ 12.2
予算現額に対する収入率		78.3	100.1	△ 21.8 ポイント	—
調定額に対する収入率		100.0	100.0	0.0 ポイント	—
不 納 欠 損 額		0	0	0	—
収 入 未 済 額		0	0	0	—

ア 収入済額

収入済額は9,644万円で、前年度に比較して1,338万円の減少(△12.2%)となっている。

また、予算現額に対する収入率は78.3%で、前年度に比較して21.8ポイント低く、調定額に対する収入率は100.0%で、前年度と同率となっている。

イ 不納欠損額及び収入未済額

不納欠損額及び収入未済額はない。

(2) 款別決算の状況

歳入の款別決算状況 (P16「第3表 歳入・歳出状況」参照) についてみると、収入済額の款別構成比率は、繰越金が95.4%で最も高く、次に分担金及び負担金4.6%の順となっている。

歳入の款別決算の状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

(単位:千円, %)

項目	区分	5年度	4年度	前年度比較	
				増減	増減率
当初予算額		31,178	80,504	△ 49,326	△ 61.3
予算現額		31,178	80,504	△ 49,326	△ 61.3
調定額		4,469	80,504	△ 76,034	△ 94.4
収入済額		4,469	80,504	△ 76,034	△ 94.4
予算現額に対する収入率		14.3	100.0	△ 85.7ポイント	—
調定額に対する収入率		100.0	100.0	0.0ポイント	—
不納欠損額		0	0	0	—
収入未済額		0	0	0	—

分担金及び負担金は、構成28市町村からの一般管理費負担金及び施設整備費負担金である。

収入済額は、前年度に比較して7,603万円の減少(△94.4%)となっている。

これは、主として施設整備費負担金が減少したことによるものである。

第2款 施設使用料

(単位:千円, %)

項目	区分	5年度	4年度	前年度比較	
				増減	増減率
当初予算額		0	7,464	△ 7,464	皆減
予算現額		0	7,464	△ 7,464	皆減
調定額		0	7,464	△ 7,464	皆減
収入済額		0	7,464	△ 7,464	皆減
予算現額に対する収入率		—	100.0	△ 100.0ポイント	—
調定額に対する収入率		—	100.0	△ 100.0ポイント	—
不納欠損額		0	0	0	—
収入未済額		0	0	0	—

当年度における施設使用料はない。

第3款 財産収入

(単位:千円, %)

項目	区分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		0	10	△	10 皆 減
予 算 現 額		0	10	△	10 皆 減
調 定 額		0	0	△	0 皆 減
収 入 済 額		0	0	△	0 皆 減
予算現額に対する収入率		—	0.4	△	0.4 ポイント —
調定額に対する収入率		—	100.0	△	100.0 ポイント —
不 納 欠 損 額		0	0		0 —
収 入 未 済 額		0	0		0 —

(注) 4年度の調定額及び収入済額は44円である。

当年度における財産収入はない。

第4款 繰入金

(単位:千円, %)

項目	区分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		0	21,236	△	21,236 皆 減
予 算 現 額		0	21,236	△	21,236 皆 減
調 定 額		0	21,381	△	21,381 皆 減
収 入 済 額		0	21,381	△	21,381 皆 減
予算現額に対する収入率		—	100.7	△	100.7 ポイント —
調定額に対する収入率		—	100.0	△	100.0 ポイント —
不 納 欠 損 額		0	0		0 —
収 入 未 済 額		0	0		0 —

当年度における繰入金はない。

第5款 諸 収 入

(単位:千円, %)

項目	区 分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		10	10	0	—
予 算 現 額		10	10	0	—
調 定 額		4	1	2	178.0
収 入 済 額		4	1	2	178.0
予算現額に対する収入率		44.2	15.9	28.3 ポイント	—
調定額に対する収入率		100.0	100.0	0.0 ポイント	—
不 納 欠 損 額		0	0	0	—
収 入 未 済 額		0	0	0	—

諸収入は、他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目であり、組合預金利子及び雑入である。
収入済額は4千円で、前年度に比較して2千円の増加（178.0%）となっている。

第6款 繰 越 金

(単位:千円, %)

項目	区 分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		0	0	0	—
予 算 現 額		91,969	480	91,489	19,060.2
調 定 額		91,968	479	91,488	19,094.9
収 入 済 額		91,968	479	91,488	19,094.9
予算現額に対する収入率		100.0	99.8	0.2 ポイント	—
調定額に対する収入率		100.0	100.0	0.0 ポイント	—
不 納 欠 損 額		0	0	0	—
収 入 未 済 額		0	0	0	—

繰越金は、前年度からの繰越明許費のための繰越財源及び前年度決算剰余金である。

収入済額は9,196万円で、前年度に比較して9,148万円の増加（19,094.9%）となっている。

これは、主として前年度からの繰越事業である旧食肉センター施設解体工事に伴う施設整備費（明許）のための繰越財源8,300万円が増加したことによるものである。

3 歳 出

(1) 決算の状況

歳出の決算額は、次のとおりである。

当初予算額	3,118万8,000円
予算現額	1億2,315万7,000円
支出済額	5,634万9,262円
翌年度繰越額	0円
不用額	6,680万7,738円

歳 出

(単位:千円, %, 件)

項目	区分	5 年 度	4 年 度	対 前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		31,188	109,224	△ 78,036	△ 71.4
予 算 現 額		123,157	109,704	13,453	12.3
支 出 済 額		56,349	17,861	38,487	215.5
予算現額に対する執行率		45.8	16.3	29.5 ポイント	—
翌 年 度 繰 越 額		0	83,000	△ 83,000	皆 減
予算現額に対する割合		—	75.7	△ 75.7 ポイント	—
不 用 額		66,807	8,842	57,965	655.6
予算現額に対する割合		54.2	8.1	46.1 ポイント	—
流 用 状 況	件 数	6	4	2	50.0
	金 額	3,637	1,181	2,455	207.8
予 備 費 の 充 用 状 況	件 数	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	—

ア 支出済額

支出済額は5,634万円で、前年度に比較して3,848万円の増加(215.5%)となっている。

また、予算現額に対する執行率は45.8%で、前年度に比較して29.5ポイント高くなっている。

イ 不用額

不用額は6,680万円で、前年度に比較して5,796万円の増加(655.6%)となっている。

これは、主として旧食肉センター施設解体工事に伴う施設整備費(明許)の不用が生じたことによるものである。

ウ 予算の流用及び予備費の充用状況

予算の流用は6件、363万円で、前年度に比較して件数は2件増加(50.0%)し、金額は245万円の増加(207.8%)となっている。

また、予備費の充用はない。

(2) 款別決算の状況

歳出の款別決算状況（P16「第3表 歳入・歳出状況」参照）についてみると、支出済額の款別構成比率は、総務費 99.9%、議会費 0.1%の順となっている。

歳出の款別決算の状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

(単位:千円, %, 件)

項目	区分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		606	606	0	—
予 算 現 額		606	606	0	—
支 出 済 額		71	177	△ 105	△ 59.7
予算現額に対する執行率		11.8	29.2	△ 17.4 ポイント	—
翌 年 度 繰 越 額		0	0	0	—
予算現額に対する割合		—	—	—	—
不 用 額		534	428	105	24.7
予算現額に対する割合		88.2	70.8	17.4 ポイント	—
流 用 状 況	件 数	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	—

議会費は、高知県広域食肉センター事務組合議会の活動に要する経費を支出している。

第2款 総務費

(単位:千円, %, 件)

項目	区分	5 年 度	4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減	増 減 率
当 初 予 算 額		30,572	108,608	△ 78,036	△ 71.9
予 算 現 額		122,541	109,088	13,453	12.3
支 出 済 額		56,277	17,684	38,593	218.2
予算現額に対する執行率		45.9	16.2	29.7 ポイント	—
翌 年 度 繰 越 額		0	83,000	△ 83,000	皆 減
予算現額に対する割合		—	76.1	△ 76.1	—
不 用 額		66,263	8,403	57,859	688.5
予算現額に対する割合		54.1	7.7	46.4 ポイント	—
流 用 状 況	件 数	6	4	2	50.0
	金 額	3,637	1,181	2,455	207.8

総務費は、一般管理費、施設整備費及び監査委員費を支出しており、支出済額は 5,627 万円で、前年度に比較して 3,859 万円の増加 (218.2%) となっている。

これは、主として前年度からの繰越事業である旧食肉センター施設解体工事に伴う施設整備費（明許）4,290 万円が増加したことによるものである。

第3款 予備費

(単位:千円, %)

項目	区分	5年度	4年度	前年度比較	
				増減	増減率
予算額		10	10	0	—
充用額		0	0	0	—
予算額に対する充用率		—	—	—	—
予算残額		10	10	0	—
予算額に対する割合		100.0	100.0	0.0ポイント	—

予備費は、予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、用途を特定しないで歳入歳出予算に計上する目的外予算である。

当年度における予備費の充用はない。

4 決算剰余金

決算剰余金は、次のとおりである。

歳入決算額	9,644万1,937円
歳出決算額	5,634万9,262円
差引残額	4,009万2,675円

歳入歳出決算の結果、4,009万円の決算剰余金が生じている。この決算剰余金については、事務を承継した高知市が引き継いでおり、今後、構成市町村に対し、その負担割合に応じて返還される予定である。

Ⅱ 財 産

決算年度における財産の状況は、次表のとおりである。

財産に関する調書

項 目		区 分	単 位	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
公 有 財 産	土 地	地	—	—	—	—
	建 物	物	m ²	3,580.05	△ 3,580.05	0.00
	山 林	産	—	—	—	—
	動 産	権	—	—	—	—
	無 体 財 産 権	—	—	—	—	—
	有 価 証 券	—	—	—	—	—
	出 資 に よ る 権 利	—	—	—	—	—
	財 産 の 信 託 の 受 益 権	—	—	—	—	—
物 品			—	—	—	—
債 権			—	—	—	—
基 金			—	—	—	—

1 公 有 財 産

前年度末現在高における公有財産は旧食肉センター施設の建物 3,580.05 m²（公用財産）であり、施設解体に伴い、決算年度末現在高は皆減となっている。

2 物 品

物品は、高知県広域食肉センター事務組合物品会計規則第6条に規定された取得価格（取得価格のないものにあつては評価価格）100万円以上の備品であり、年度中の増減及び決算年度末現在高はない。

3 債 権

年度中の増減及び決算年度末現在高はない。

4 基 金

年度中の増減及び決算年度末現在高はない。

Ⅲ 審 査 意 見

高知県広域食肉センター事務組合（以下「組合」という。）は、と畜場法（昭和28年法律第114号）に基づく食用に供する獣畜の処理及び肉類の加工、流通の合理化を推進するための施設である高知県広域食肉センター（以下「食肉センター」という。）の設置・管理等を目的として、昭和53年11月30日に高知市を含む高知県下44市町村（解散時は28市町村）により組織された一部事務組合である。

組合は、運営主体である一般社団法人高知県中央食肉公社とともに、食肉センターにおける安全で安心な食肉の提供と高知県下の畜産振興に寄与するなど、その役割を果たしてきた。

今般、食肉センターについては、施設の老朽化や長期化する赤字経営等から、新たな事業主体である「高知県食肉センター株式会社」が設立され、令和5年4月からと畜事業を開始することとなり、同年3月末をもってと畜事業を廃止した。

これらを受けて、組合については、その設立目的が消滅したとして、令和5年10月に旧食肉センター施設の建物を解体し、令和6年2月29日をもって発展的に解散したものである。

これに伴い、同日をもって打ち切られた一般会計歳入歳出決算について、その審査を行ったものであるが、審査に当たっては、決算書類の正確性の検証を中心に実施した。

令和5年度の一般会計歳入歳出決算額は、歳入9,644万円、歳出5,634万円で、前年度と比較すると、歳入は1,338万円の減少（△12.2%）、歳出は3,848万円の増加（215.5%）となっており、歳入から歳出を差し引いた形式収支は4,009万円となっている。また、打ち切り決算であるため翌年度に繰り越すべき財源がないことから、実質収支は、形式収支と同額となり、4,009万円（前年度実質収支896万円）の黒字となっている。この決算剰余金4,009万円は、組合の解散に伴う事務承継に関する協議書に基づき、高知市に帰属している。

財産の状況についてみると、公有財産は旧食肉センター施設の建物3,580.05㎡のみで、解体により、前年度末現在高に対して皆減となっている。そのほか、引き継ぐべき物品や債権等はない。

以上が、一般会計歳入歳出決算の概要であるが、その決算書類を関係書類及び証拠書類と照合した結果、その計数については、おおむね正確であることが認められた。

なお、高知市が引き継いだ決算剰余金4,009万円については、今後、構成市町村に対し、その負担割合に応じて返還される予定である。

組合は、昭和53年の設立から40年以上にわたり、と畜事業と食肉流通事業の一翼を担うことで県内の畜産業の振興に寄与するとともに、消費者に安全で安心な食肉を提供するための重要な役割を果たしてきた。今般、前述の経緯により解散となったが、組合が果たしてきた役割が新施設の事業主体においても引き継がれるとともに、安定的な経営に努められ、なお発展されることを望むものである。

審 查 資 料

審 査 資 料

第1表	歳入歳出総括	14
第2表	実質収支に関する明細	14
第3表	歳入・歳出状況	16
第4表	歳入・歳出年度比較	18
第5表	流用及び予備費の充用状況	18

第1表

歳 入

区 分	歳 入		
	総 額	重 複 控 除 額	差 引 純 歳 入 額
金 額	96,441,937	0	96,441,937

第2表

実 質 収 支

区 分	予 算 現 額	歳 入 総 額	歳 出 総 額
金 額	123,157,000	96,441,937	56,349,262

歳 出 総 括

(単位:円)

歳 出			差 引 過 不 足	
総 額	重 複 控 除 額	差 引 純 歳 出 額	総 計 額	純 計 額
56,349,262	0	56,349,262	40,092,675	40,092,675

に 関 す る 明 細

(単位:円)

歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額
	継続費 繰越額	次 繰越額	明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	
40,092,675	0	0	0	0	40,092,675

第3表

歳 入

歳	区分 款	予 算 現 額		調 定 額		
		金 額	構 成 率 比	金 額	構 成 率 比	予 算 現 額 比
入	1 分担金及び負担金	31,178,000	25.3	4,469,411	4.6	14.3
	2 施設使用料	0	—	0	—	—
	3 財産収入	0	—	0	—	—
	4 繰入金	0	—	0	—	—
	5 諸収入	10,000	0.0	4,423	0.0	44.2
	6 繰越金	91,969,000	74.7	91,968,103	95.4	100.0
	計	123,157,000	100.0	96,441,937	100.0	78.3

歳	区分 款	予 算 現 額		支 出 済 額		
		金 額	構 成 率 比	金 額	構 成 率 比	予 算 現 額 比
出	1 議会費	606,000	0.5	71,284	0.1	11.8
	2 総務費	122,541,000	99.5	56,277,978	99.9	45.9
	3 予備費	10,000	0.0	0	—	—
	計	123,157,000	100.0	56,349,262	100.0	45.8

歳 出 状 況

(単位:円, %)

収 入 済 額				不 納 欠 損 額				収 入 未 済 額			
金 額	構 成 率	予 算 現 額 比	調 定 額 比	金 額	構 成 率	予 算 現 額 比	調 定 額 比	金 額	構 成 率	予 算 現 額 比	調 定 額 比
4,469,411	4.6	14.3	100.0	0	—	—	—	0	—	—	—
0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—
0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—
0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—
4,423	0.0	44.2	100.0	0	—	—	—	0	—	—	—
91,968,103	95.4	100.0	100.0	0	—	—	—	0	—	—	—
96,441,937	100.0	78.3	100.0	0	—	—	—	0	—	—	—

(単位:円, %)

翌 年 度 繰 越 額						不 用 額		
継 続 費 透 越 繰 越	繰 越 明 許 費	事 故 繰 越 し	計	構 成 率	予 算 現 額 比	金 額	構 成 率	予 算 現 額 比
0	0	0	0	—	—	534,716	0.8	88.2
0	0	0	0	—	—	66,263,022	99.2	54.1
0	0	0	0	—	—	10,000	0.0	100.0
0	0	0	0	—	—	66,807,738	100.0	54.2

第4表

歳 入 ・ 歳 出

歳	区 分 款	収 入 済 額		
		5 年 度	4 年 度	3 年 度
入	1 分担金及び負担金	4,469,411	80,504,000	7,100,000
	2 施設使用料	0	7,464,000	7,464,000
	3 財産収入	0	44	392
	4 繰入金	0	21,381,164	0
	5 諸収入	4,423	1,591	49
	6 繰越金	91,968,103	479,129	2,036,092
	計	96,441,937	109,829,928	16,600,533

第5表

流 用 及 び 予 備 費

区 分 款	款 内 項 間 の 流 用				項 内 目 間 の 流 用			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
1 議 会 費	0	0	0	0	0	0	0	0
2 総 務 費	0	0	0	0	0	0	0	0
3 予 備 費	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

年 度 比 較

(単位:円)

歳	区 分	支 出 済 額		
		5 年 度	4 年 度	3 年 度
出	1 議 会 費	71,284	177,097	210,814
	2 総 務 費	56,277,978	17,684,728	15,910,590
	3 予 備 費	0	0	0
	計	56,349,262	17,861,825	16,121,404

の 充 用 状 況

(単位:件, 円)

目 内 の 流 用				流 用 合 計				予 備 費 の 充 用			
件 数		金 額		件 数		金 額		件 数		金 額	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	4	3,637,850	1,181,944	6	4	3,637,850	1,181,944	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	4	3,637,850	1,181,944	6	4	3,637,850	1,181,944	0	0	0	0